鯨史稿

130
6
72

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

鯨鮫史稿

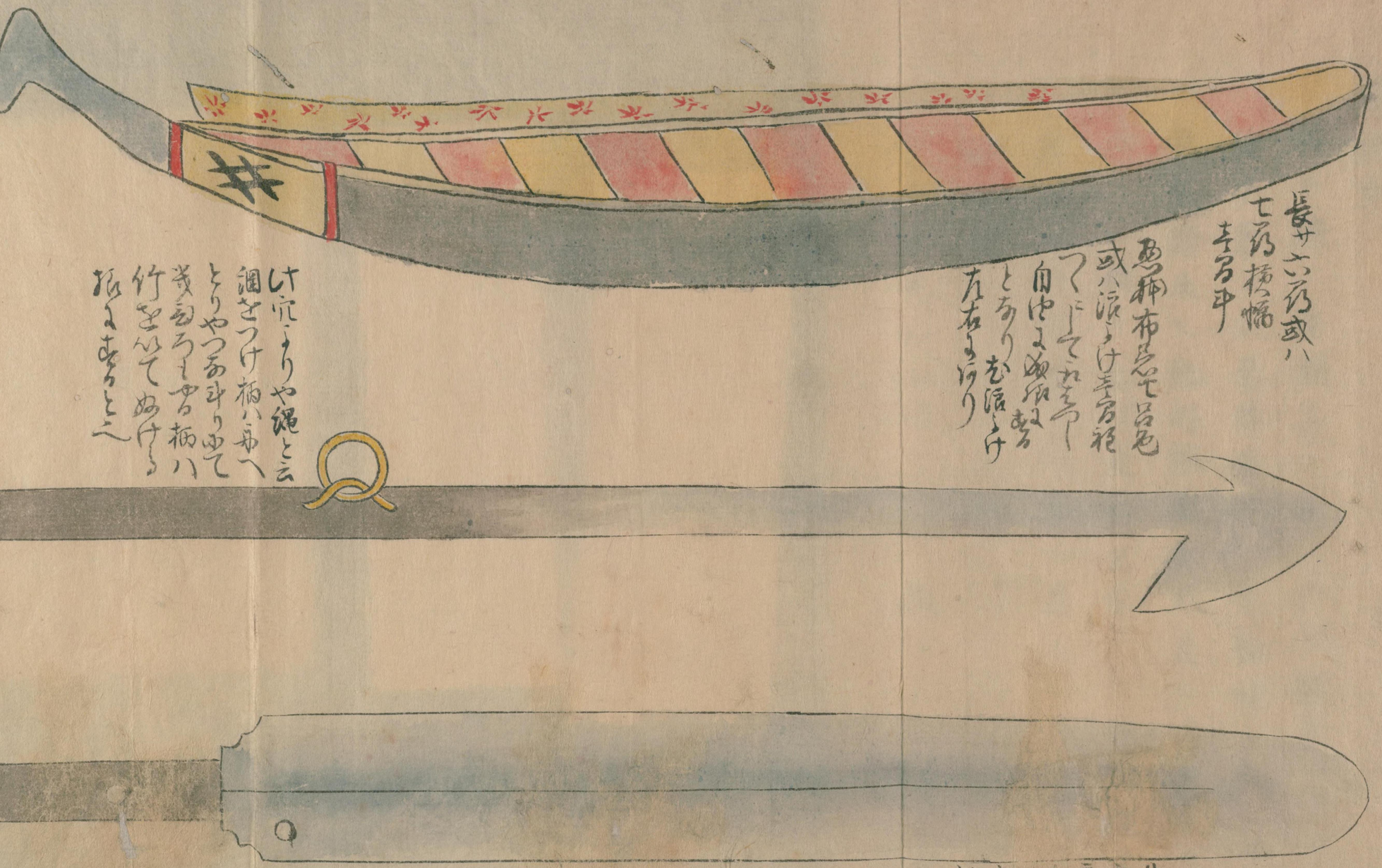
東京圖書館
和書門
類 一三〇
函 五中
架 七二
號 六
冊

130
6
72

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

右熊野浦縁之景
于時寛政十年戊午十月
戸田氏

紀伊國熊野海鯨之圖



長サ六丈或ハ七丈横幅壱丈弐尺

惣体布色七八分黒色或ハ浪ようけ壱分程つゝにてこれあり白ハよう斑ありとなり尾ハ浪ようけ左右へわかれり

十穴ばかりや縄と云ル綱をつけ栖ハ鼻へとりやつあみりゆて或ハ弐ツ栖ハ竹をんてぬけるなどよきとこ

ハ鯨を突ク者を壱人乗ル其ほか弐人乗ル

すゝ栖をつけてつぶす也

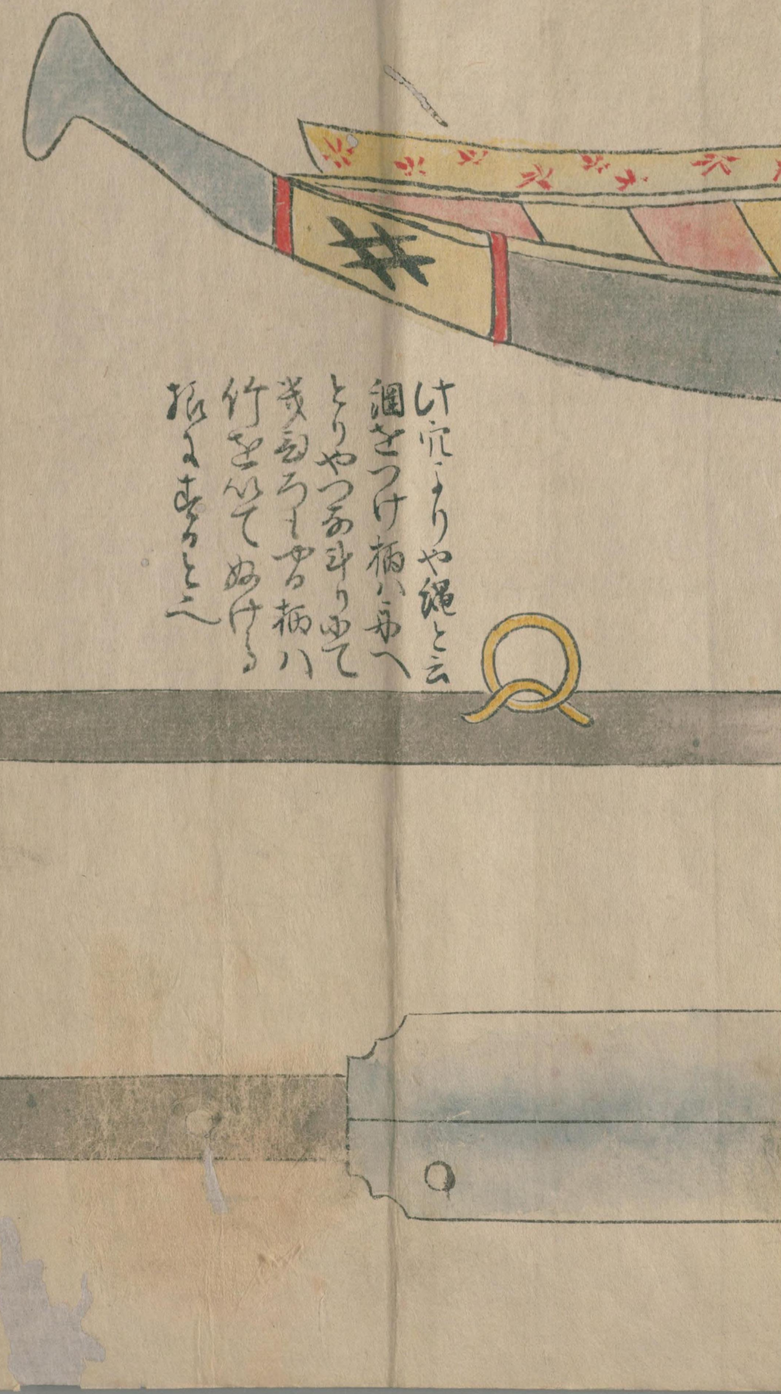
国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

長サ 七尋
深サ 拿指渡
但シ沖ヨリ入
此鯨二十九尋ニ及ヒシと云

長サ 六尋
深サ 二尋ニ及ヒシと云

此鯨 風味上



此穴ニより綱と云
綱をつけ梢ノ方へ
とりやつなを引り出て
我方ニ而梢ハ
竹をはなして抜ける
抜るまでと云

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

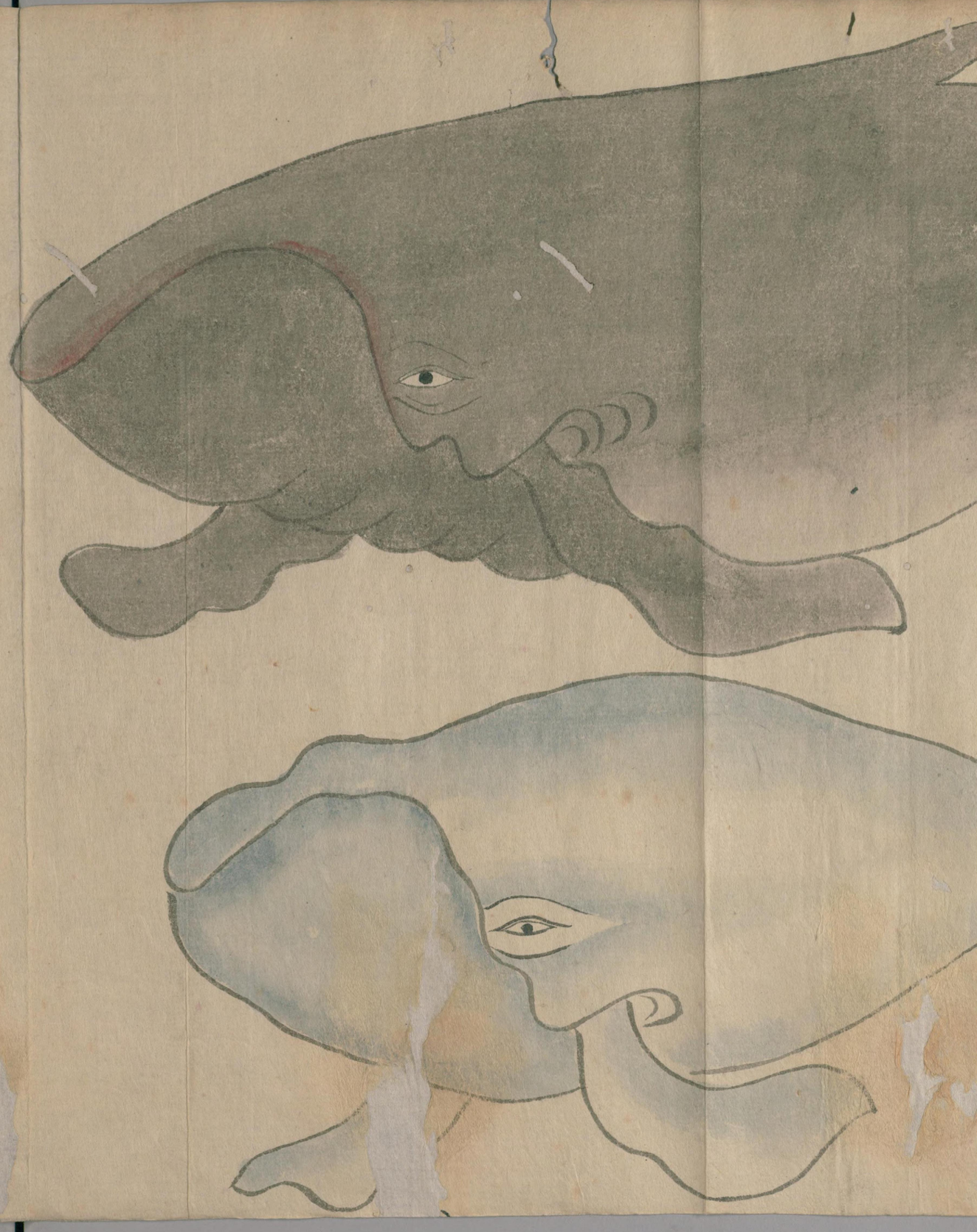
脊美鯨　風味上

白キハフニアラス又ハ灰名ナリ

長サ　十丈ノ
幅　三百枚
三十三尋ノ上
ヲ云

長次鯨　風味下

長サ　十丈ノ
幅　二百枚
三十



国立国会図書館　　タイトル『鯨史稿 6巻』　請求記号 130-72

ガラス使用

白キハフニ
アラス貝
ヲ多分ニ
ナリ

長サ 十五尋
沖数 三百梅
三十三尋ノ処
ヲ云

鯨 眼ノ下

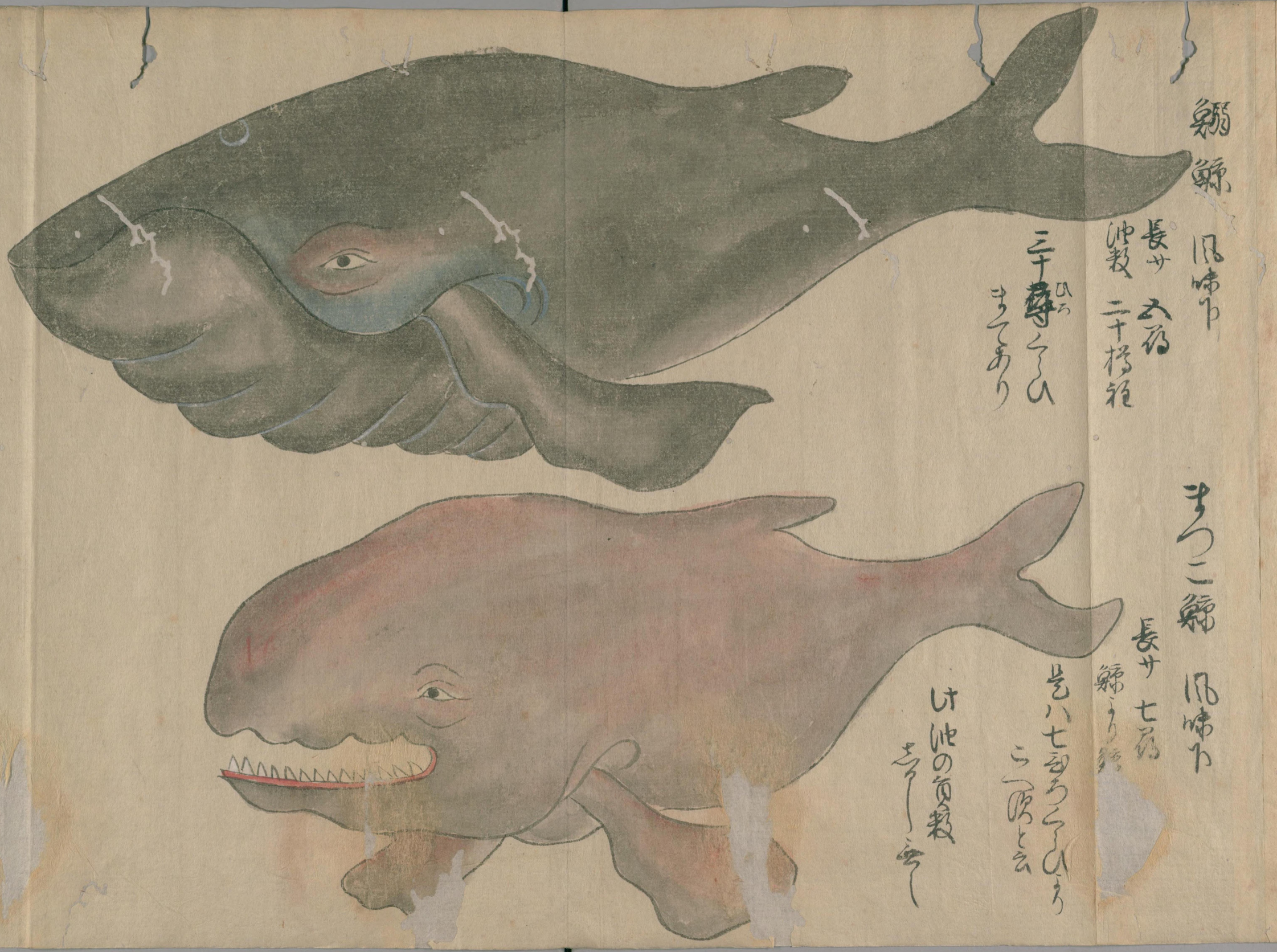
長サ 六尋
沖数 二十梅程

三十尋(ひろ)
ヲ云ヘリ

まつこ鯨 眼ノ下

長サ 七尋
鯨ノ多キ
ヲ云

長サ 十六尋
沖数 百梅程
三十



国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

さつま鯨　風味下

長サ　尺尋
池数　十四五枚程
九八九百三十斤程とり

此鯨の鯨を喰ふ事ハ初て
大ニ喰殺（こう）そ其喰こゝろ
鯨汁也ゟ甚よし乍ら
風味もあーさといふ

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

のそ鯨　風味下

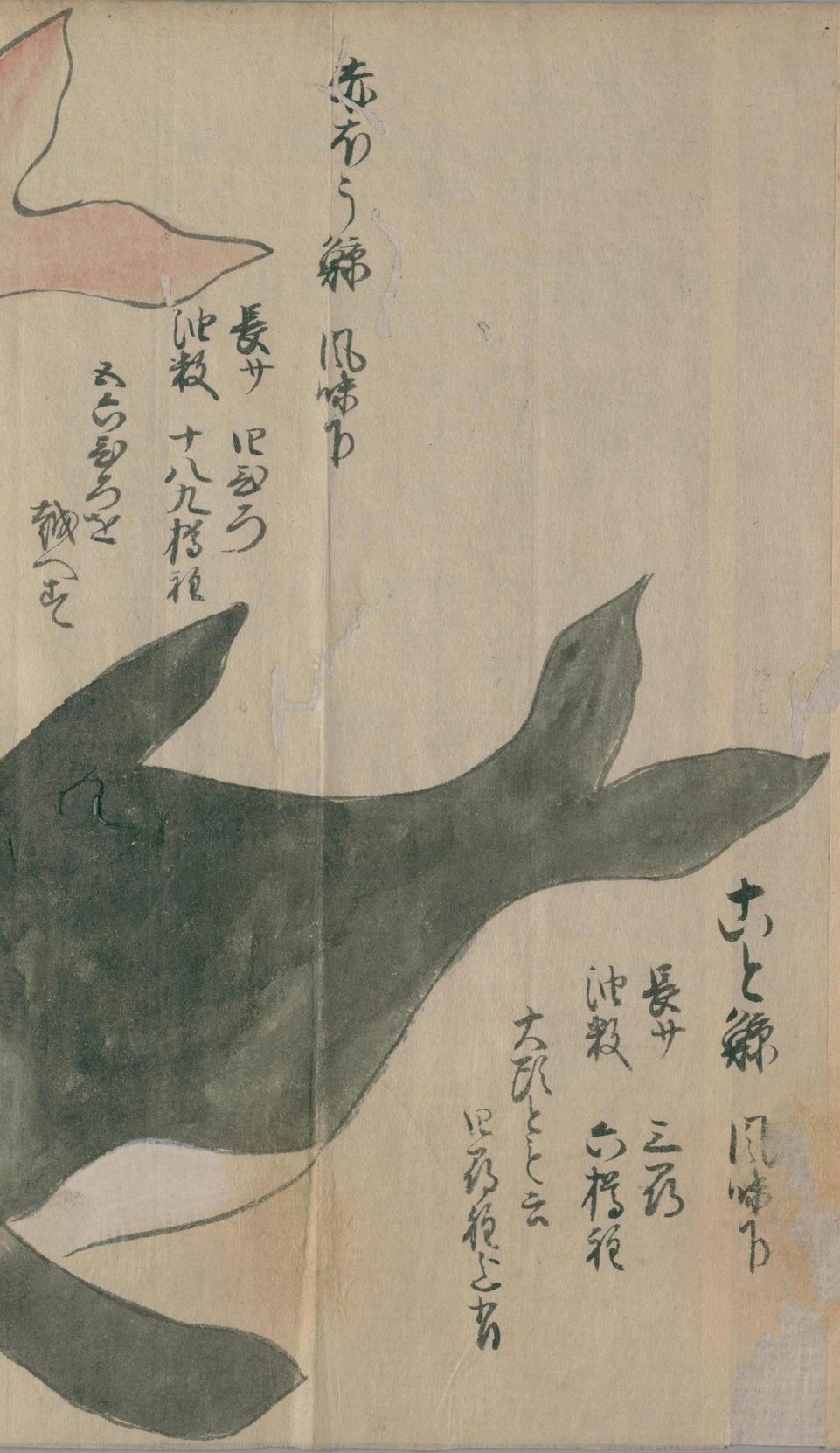
長サ六尋
池数七八十枚
廿八九尋
まてよあり

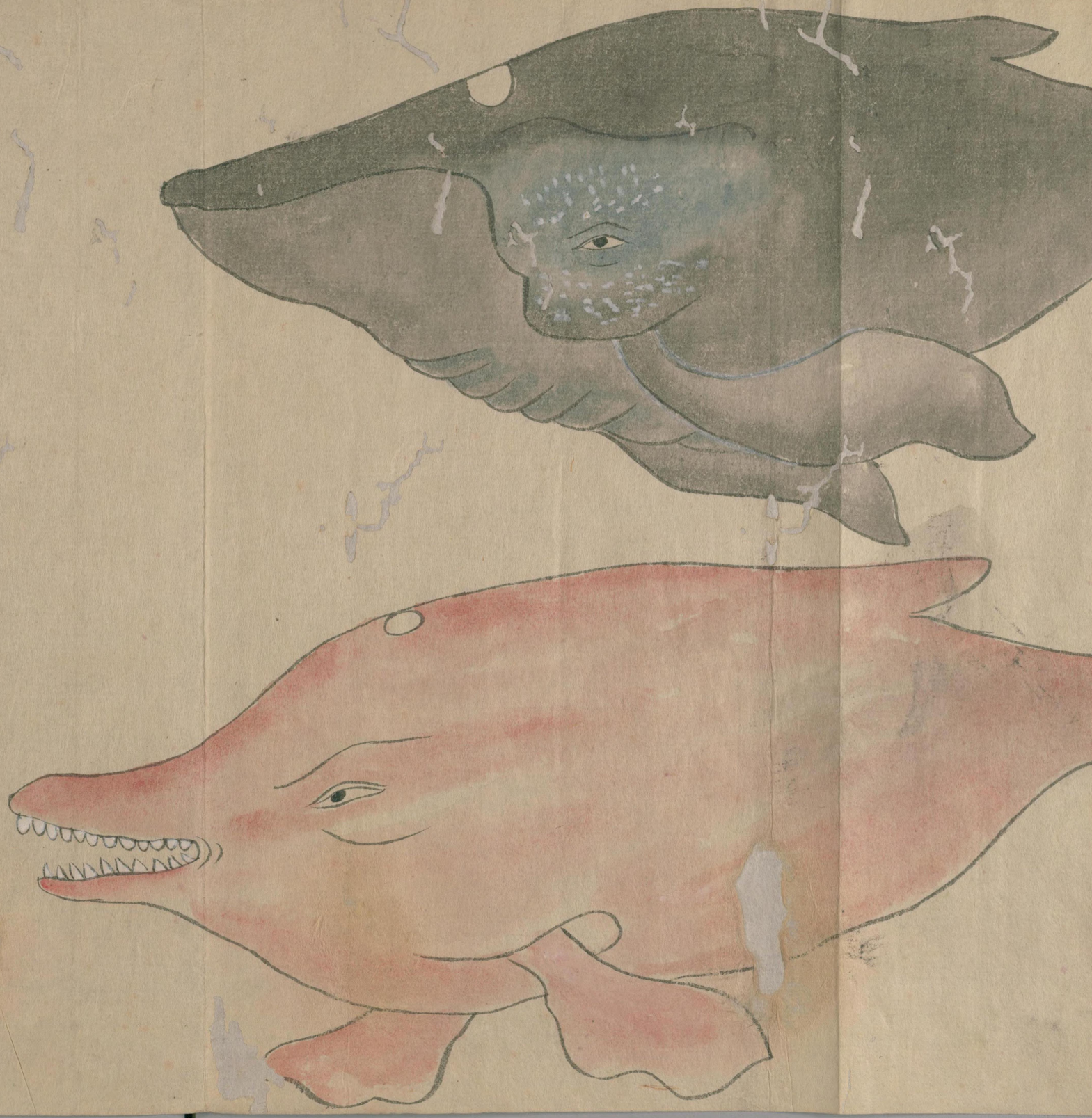
つち鯨　風味下

長サ八尋
池数十八九枚
廿六尋まてよあり

国立国会図書館　　タイトル『鯨史稿 6巻』　請求記号 130-72

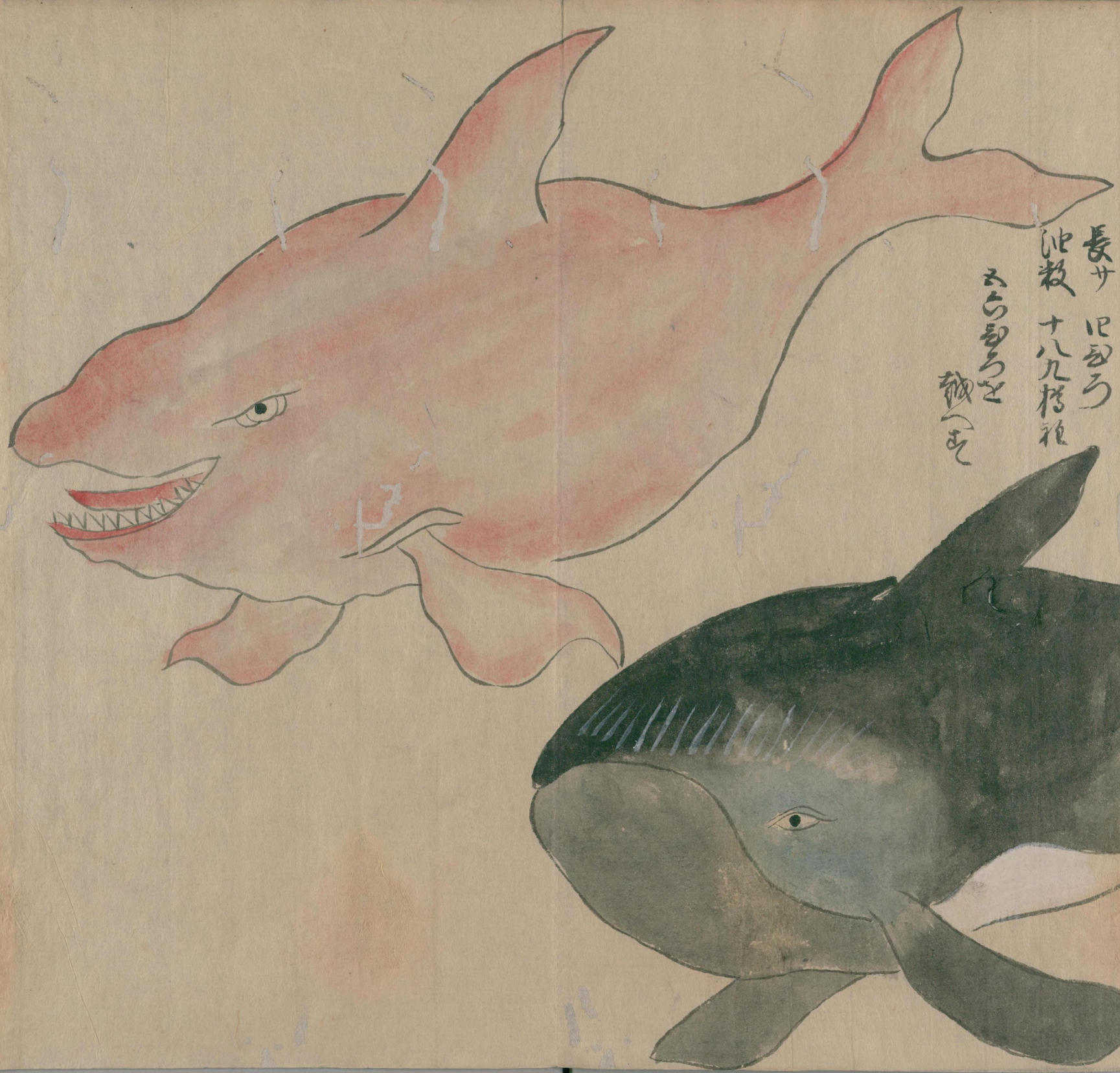
ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用



右熊野浦鯨之図

赤ちう鯨 形状

長サ 此図ノ
池数 十八九枝程
ありのまゝを
誌へ

池数 六枝程
大凡ありのまゝを
誌へ

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

右熊野浦鯨之図
寛政十年戊午十一月
戸田氏

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

明治十九年一月十六日購求

東京圖書館藏

鯨史稿　巻之二

釋種第二

梓ニ鯨ノ種類甚タ多シ西海鯨圖ニハ八種ヲ著シ本草啓蒙ニハ十餘種ト云ヒ日東魚譜及ヒ紀州鯨圖原本及ヒ同異本ニハ十一種ヲ出シ食療正要ニハ十三種ヲ載セ紀州鯨圖一本及ヒ鯨志ニハ十四種海鰌譜ニハ二十八種ヲ收メ其說各一十ヲ又唯大和本州ニハ六種ト而已云テ其

名ヲ擧ゲス和漢三才圖會及ヒ本朝食鑑
鯨記唐津捕鯨圖説ニ六種ヲ載セタルハ
正ニ近シ然レヒ真甲鯨ヲ擧ゲタルハ誤
ナリ獨リ西遊旅談ニ五種ヲ著スハ最モ其
正ヲ得タリ旅談ノ書タル妄説多シテ信
ノ説ハ其正ヲ得タリスルニ足ラス獨リ蓋シ
平戸ニテ聞タル故ナリ然ルニ五種ノ
内二種ニハ各二品アリコレ亦余カ平戸
因テ今五種七品ト定ム其説詳ニ後ニ見
エタリ

鯨魚種族諸説異同表

其種類ノ同異曉リ易カラシカ為メ表
ヲ作テ之ヲ載ス

今所定	西遊旅談	本朝食鑑 和漢三才 圖會 鯨記 唐津捕鯨 圖説 刪訂鯨志	西海鯨説	紀州鯨圖 原本 紀州鯨圖 別本 紀州鯨圖 異本 日乘魚譜	食療正要
五種	五種	六種	八種	十一種	十三種
脊美	脊美	脊美	脊美	脊美	脊美
					脊美
				脊美	
				脊美	
				脊美

二 座頭 真座頭 ノウソウ	座頭	座頭	座頭	座頭	座頭	座頭
三 長須 白長須似タリ	長須	長須	長須	長須	長須	長須
四 兒鯨 二品 青サキシヤレ	兒鯨	兒鯨	兒鯨 原本別本	ノソ 原本異本	ノソ	ノソ
五 鰯鯨 又名鰹鯨	鰯鯨	鰯鯨	鰯鯨 原本別本	チゴ鯨 異本	青鷺	長須
附 鼻鯨	鼻甲鯨	鼻甲鯨	鰹鯨 異本		チゴ鯨	一種
	鼻甲鯨	鼻甲鯨				
	鼻鯨	鼻鯨				
	鰹鯨	鰹鯨				
	鰯鯨	鰯鯨				

有狐此鼈 奥吉栗綿 武鼈

伊咄通信 列 奥哇如鳥 大 結泥武鼈

伊所僕武鼈

伊哇武鼈 咄奥麻夫

武鼈 奥吉捺 也伊的所 麻 恒跋喇鼈 児鼈

録	附 槌鯨 録 遊鯨	附 赤坊鯨 録	附 サカマタ 録 クメカマタ又シヤチ	附 コト鯨 録		
	槌鯨	赤坊鯨	サカマタ	コト鯨 一本	ナイザゴトウ 又ナイザゴトウゲ	シホコト 上同
	槌鯨 原本別本 奥譜	赤坊鯨	サカマタ 原本別本 奥譜	コト鯨 異本	シホゴト 異本	シホゴト 上同
	槌鯨	赤坊鯨	シヤチホコ 異本			オホシコト 上同
	槌鯨	赤坊鯨	サカマタ			オホシコト
	槌鯨	遊鯨 志鯨	サカマタ			
一種 奥州桃生所獲	槌鯨	遊鯨	サカマタ			
		赤坊 一本				

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』　請求記号 130-72

ガラス使用

一脊美（セミ）唐津捕鯨図説作脊美又作勢比

セビ　セミ

脊美ト號スルコト脊甚タキレイニテ障（サワ）ル物ナク黒漆ノゴトクウツクシキユヘノ名ナリ

鯨記

諸鯨皆有鰭唯此鯨没有以脊上無物而脊之為美故名之称脊美也然脊乾之名雖非無其譜係牽強故不取也

鯨志

性好浮水面形貌圓活長大頭小（クワ）峻（タカク）至喙上而稍

附スナメリ

録

附奥譜螻蛄鯨ヲ今姑ラク其名ヲ存ス

スナメリ異本

以下略ス

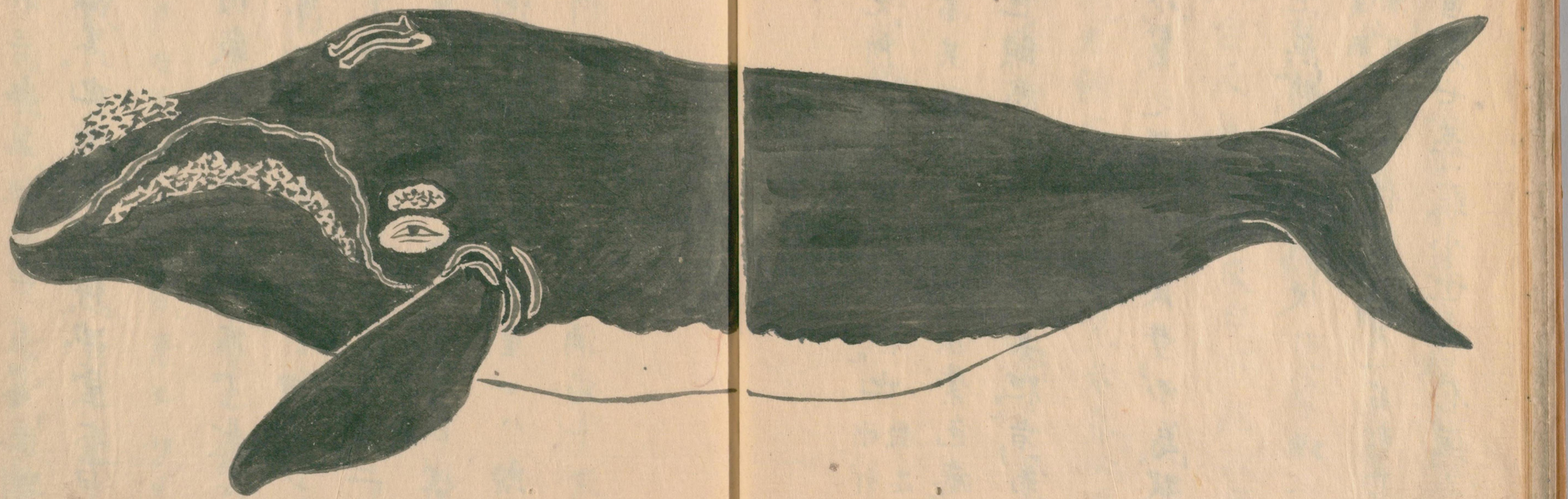
国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

甲上喙小而脣邊彎曲下喙大而脣邊突起閉口(モリアガリ)
則正與上彎曲處吻合目在吻上腴有白斑雲頭
文鮒不大岐而中央有刻缺一此(スコシ)鯨志
齒著上齶而在口內舌灰色上脣灰白下齶淡紫
黑色 刪訂 鯨志
脊美唯黑質無白章者鯨志指謂白章者意必見
所圖牡蠣(カキ)而誤又謂喙端有沙者是凹(クボミ)間之虱也
刪訂 鯨志
身半以下反張(ソリ)朝上非也 刪訂 鯨志

黑質而無白暈是見所圖之分皺而誤也 刪訂 鯨志
脊美本一種而肥者其所有牡蠣皆淡紫色瘠者
所有之牡蠣皆白色鯨志所說者指其肥者而言
也 刪訂 鯨志
鬣根即有些皺是以鬣亂之運動故皮豐而為皺耳
刪訂 鯨志
背上黑腹表白脊上無鬣但兩頰後有鬣項上有
吹潮孔漢者云凡美無鰓者皆有吹潮孔 金体着蠣房石劫類矣
大者十二一尋小者六七尋眼小也大者僅五寸

脊美鯨



国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

淡黒而睛灰黒無眸子無歯但口中有二巉毛倒生
如レ歯有レ舌灰色帯レ微黒ヲ也十尋ん者得ル油ヲ量六百石
餘也紀洲鯨図原本
背美鯨ハ六種ノ内最上ノ魚ナリ大ナルハ十
二尋十四五尋ノ魚ハ痩ヲトラヘテ油乏シ十
二尋ノ魚ハ肥満テ壮年ノ時ナルベシ油二斗
入樽大抵四五六百大ニ肥タルハ八九百樽千
樽有ル魚偶アリ油ヲ樽ニ入積ミ重レハ鯨ノ
全体ヨリ大ナリ何レノ所ヨリ油涌出ルト夥ク

レ長十二尋アレハ圍ト十二尋アリ脊ノ皮厚サ
一尺二三寸腹皮一尺五六寸鯨
背美鯨長ナ九尋程有レ之胴ノ廻リモヲナシ海
上ニ間モナク浮ミ出潮ヲ吹上ル時海中ヨリ
一二間ハ一筋ト見ヘ二三間ニテハ二ツニ分
レ見ユル穴一ツノウチニヘタテ有レ之歯ハ
クシテ毛ノコトキモノ弁キ組合レ居ルリノ毛
長サ八九尺ホト数ハ三百六十枚有レ之是ヲ鯨
ノ髭ト云ナラハシ此魚油ニ斗入七八百樽程

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

有之 西海鯨図

此鯨頭ノ頂上ヨリ少シ前ニ當リテ両孔アリ即チ鼻孔ニメ所謂潮噴(シホフキ)ナリ潮噴ノ前喙(クチバシ)ニ近キ辺ニ肉突起(モリアガリ)シタル所ヲ俗茶臼山ト云テ介(カイ)虱簇(シラミタカ)リ着(ツ)ケリ口ニハ上顎(ウハアギ)ニバカリ所謂ヒゲ鯨比メ生(ハエ)タリ下ニハ何モナクシテ下脣上ヲ掩(オホ)エリ喉(ノド)ノ少シ後上ノ方ニ当リテ目アリ目其体ニ比スレハ至テ小ニメ牛ノ目ノ如シ瞼(マブタ)アリテ瞬(マタタ)ス目ノ少シ上ニ眉毛(マユケ)トモ思(オボ)シキヤウニ牡蠣ノ類著ケリ目ノ後少シ下ニ立羽(タツパ)ト云ヘル鬣(ヒレ)アリ立羽ノ外面(ソトムキ)ハ皆肉ノミニテ内ニハ指ノ如キ骨アリテ自在ニ運動ス尾ニハ骨モナク肉計リニシテ左右ニ分(ワカ)ル注ス倍ニ云金奠尾ノ如ニシテ二ツ尾ナリ全身黒質ニシテ腹ハ白シ肉味甚タ佳美ニシテ鯨中ノ最上ナリ大ナル者ヲ得(エ)ハ銀六拾貫目金千両ヲ得ベシ小ナルモノモ拾貫目金百六拾六両ニ分余ナリ下ラス故ニ組方ニテ勢力美ヲ見カケテハ餘(カ)ノ

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

鯨ヲ捕(トラ)ヒカヽリタルヲモ打ステヽ人々勢力ヒ
竹テ勢美ノ方エ趨クナリ納屋(ナヤ)ニテ本(ホン)ト称
スルモ勢力美ノ了ナリ
脊美鯨一種耳鯨志謂(イフ)有(アリ)ト二種(シュ)者見(テ)分(ワカ)圖(ズ)鯨之肥
瘠(セ)者(モノ)叩(タヽキ)作(テ)兩圖(ヲ)而以為(ス)脊美二種(シュ)也是(レ)又不知(ラ)二真
鯨(ノ)之誤(リ)也 刪訂鯨志
勢美ノ子生テ一ケ月計リノ内ハ薄黛色ナリ
之ヲ白子ト云フ既ニ一ケ月ヲ過キ其年ノ内
色稍(ヤヽ)黒クナリタルヲ黒子ト云二年子三年子
ニナリテハ年數見分ケガタシ鯨(クヂラ)至テノ佳味
ナリ納屋ニテ脊美ノ子ハ白子ヨリ本(ホンウヲ)魚一本
ト定ム 此事唐津捕鯨
図説ニ出ツ
子成長スル事至テ速(スミヤカ)ナリ十月霜月ニ産スル
ノ子三月ニハ長サ五尋六尋トナリ八尋ノ物
ハ乳(チ)離(ハナ)レニテ痩(ヤセ)テ油ナシ九尋ヨリ段々肥(ヒマシ)満
ス鯨記
脊美ノ子ハ臨月頃七八尺座頭ノ子ハ二尋ヨ
リ三尋程座頭ノ子ハ親ハ小クテ子ハ大ナリ 鯨漁叢話

二座頭 唐津捕鯨圖說作雜頭ニ

ザトウ

琵琶筐魚（ヒバコ）譜

脊上ノ鰭瞽者ノ琵琶ヲ負フニ似タリ故ニ名ク盲魚（メクラウヲ）ト云ニハ非ス 和漢三才圖會 日東魚譜 紀州鯨圖 厚本異本鯨志 並ニ同

西國ニテ盲目琵琶ヲ負テ地神經ト云モノヲ讀ミ家々ニ行テ竈（カマド）ノ神ヲ祭ル此琵琶ヲ負タル形ニ似タル故名付ケタルナラン 民家盲

目ヲ座上ニ招テ座頭ト称ス鯨記

雑頭ハ雑物ノ中ニテ上ト云コトナリ 唐津捕鯨図説

。雑物ハ脊美ヲ除キテ其他ノ鯨ヲ云 奥譜

脊ニ有肉鬣形似琵琶故名琵琶筥ト 日東

黒質而喙鬣比他鯨稍長上下喙之小大及植鰭状皆和那加思一般鬣面黒脊白而面或有白斑

其文不一又上下脣及眼眶四邊至領下有斜皺數道勁端中央有刻缺些 鯨志刪訂

桜ニ鬣面ニ白斑アルト云ハ恐クハ非ナリ牡

蠣ノ類什タルヲ誤リ認テ白斑アリトスルカ

平戸ニテ白斑アルヲ云ハス

鯨志云黒質白章唯黒質而無白章白章ノ字當 鯨志刪訂

刪去鬣脊乃白而無文

鯨志云斜皺灰白相間此物全體純黒色不有灰白相間者唯皺襞之内則淡灰色 鯨志刪訂

此鯨形体腹背張大豊満ニシテ頭稍偏平ナリ

尾ハ勢美ノ如シテ下ヘ斂レ丙端左右相向テ

内ノ方ヘ少シ斜レリ立羽モ勢美ニ比スレハ

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

狹(セバク)レテ長シ味(ヒ)勢美ニ次テ佳ナリ
勫端細刻折非如(ト)ニ長須脊美之勫ノ真ノ者ニ
刑訂鯨志
按ニ勫端細刻折アリト云テ其圖ニハ勫端
細刻折七十二三アリ恐クハ然ラス平戸鯨
圖其真ヲ得ルニ似タリ
座頭大(タル)者不(ル)過(キ)ニ四五丈一髭(ヒレ)長(サ)丈許一片(ハ)黒(ク)一片(ハ)白
其肚皮層々作(ル)畦(ウネヲ)如(シ)ニ編(アミシ)竹(ノ)ヲ呼(テ)名(スノコ)簀子皮背有(リ)ニ方二
尺許(ノ)皎鰭(ボ)其余與(ニ)世美同(シ)爾雖(ト)中(モリ)ニ森鮮(ニ)能遁(レ)去(ル)但
子持鯨易(シ)得先使(シ)ニ兒(ヲ)鯨防殺之(ヲ)半死(ナラ)則母鯨不(ル)忍
去(ル)ニ以(テ)身(ヲ)掩(ヒ)子(ヲ)時可(シ)ニ殺得(ル)後又捕(フ)ニ子鯨(ヲ)蓋今用(ヒ)ニ大網(ヲ)
則座頭亦不(ル)能(ク)ニ遁去(ル)和漢三才圖會
味上品(ノ)ニ麑毛軟薄(クシテ)而不(ル)堪(ヘ)ニ作(ル)器物(ヲ)舌色淡黒大者
八九尋小(サキ)者三四尋七尋者得(ル)ニ油百石餘(ル)紀洲鯨圖原本
集譜
長サ六七尋油槽數五六十肥タルハ百二三十
冬油沍(コホ)ル蓬莱ト云有(リ)油三百槽許リ赤身マテ
油ナリ食物小鯨ニ同シ又鮮(アミ)ヲ食フ鯨記
座頭鯨長サ拾尋程アリテ頭ノ形チセミクヂ

別ニ一品トセズ

ラヨリ平ク長サ壹間半程潮ヲ吹上ル時上細
三筋ニ見ヘ腹ノ下ウチ立ツ是ヲスノコト云
口中ノ毛長サ壹尺五六寸ヨリ二尺程油三百
四五拾樽程アリ西海鯨説
雛頭ノ内ニ真雛頭又ノウサ是ヲノンコトモ
云唐津捕鯨図説
桜ニ余平戸ニテ聞タルニモ座頭ニ二種ア
リ真座頭ノウソウト云然レ𪜈形色總テ同
レ老漁ニアラサレハ辨レガタレト云故ニ

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

三長須

ナガス

那加思（ナカヌ）漢語長身之謂也鯨志

世ニ鯨三十三尋ト云ハ此事ナラン ナガシト云意カカクノ如ク唱ナリ鯨記

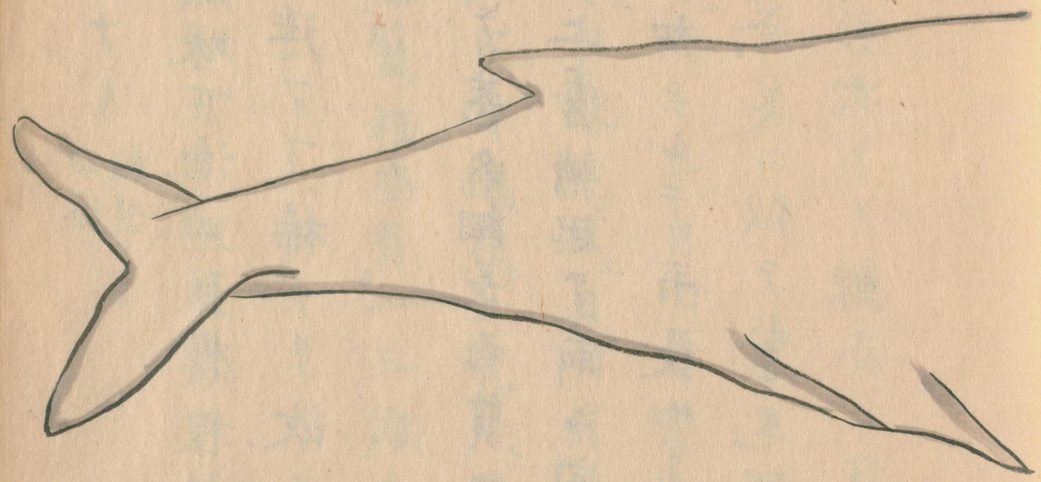
白長須ト云アリ又小キツレヲ似タリト云 唐津

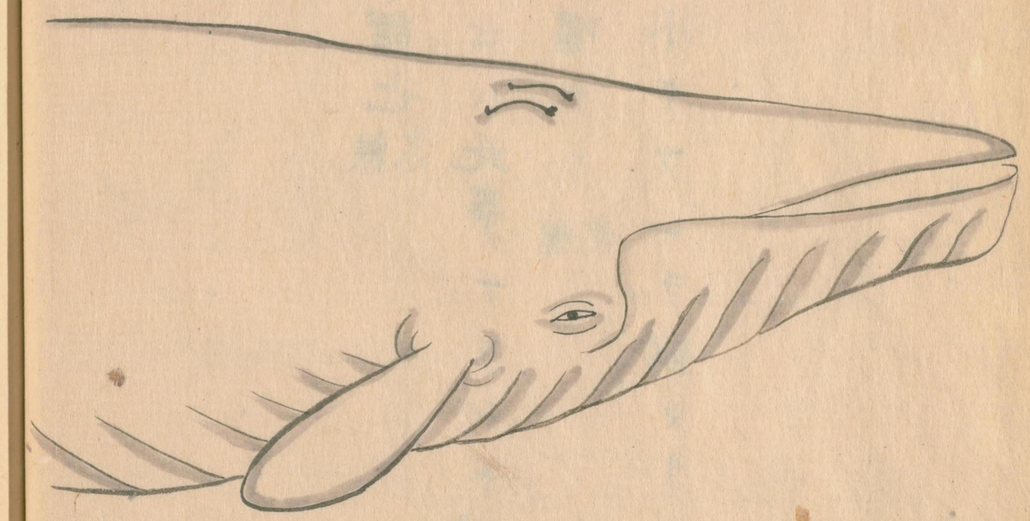
捕鯨図説

長須ニ二種アリ

白長須

長須鯨





国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

口中ノ毛座頭同然ナリ　西海鯨図

長須鯨長十五尋風味下油四百樽程大ハ十餘丈常ニ海底ニ沈テ浮フ事稀ナリ故ニ得ガタシ　紀州鯨図一本異本並同

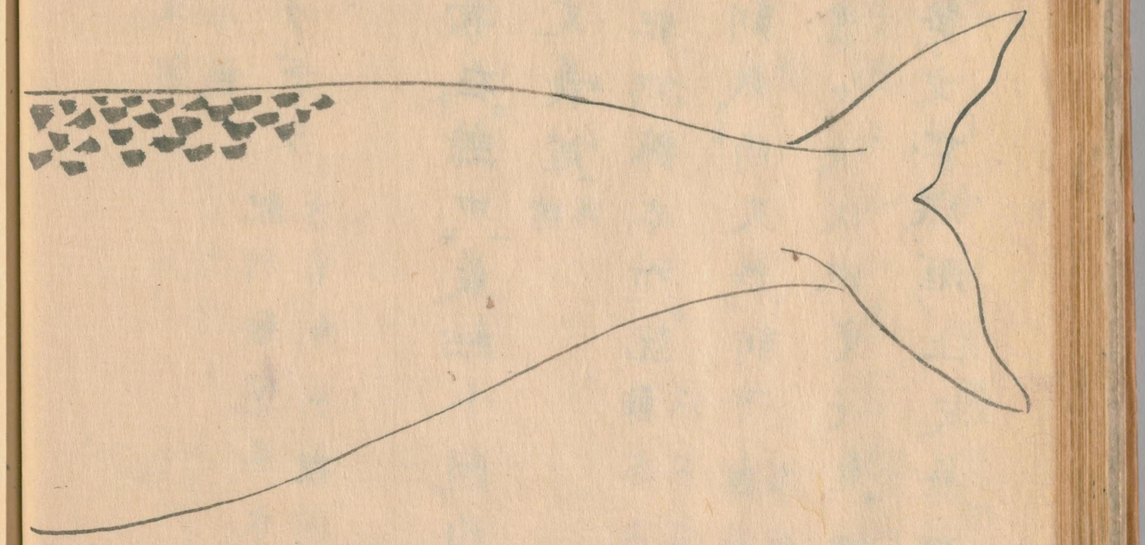
此鯨形チ座頭ニ似テ甚タ細長白質ナリ喙端ノ処下脣少ク陷リ上脣稍起テ前ニ向ヒ上下吻合ス下脣座頭ノ如ニシテ平長ナリ鬣ハ木葉ノ形ノ如ク尾ハ脊美ニ似テ鬣尾體ニ比スレハ皆至テ小ナリ形状下ノ鯨志ニ説ク所ニ同シ但色白ク異トスルニ似タリ

全身灰色而頭至テ喙ニ漸々卑シ自吻前彎折至リ喙端甚タ細長ニシテ而状似タリ鴨喙ニ下喙極テ大ニシテ自吻前突起シ而豊大ニ至リ喙端ニ甚タ倹小但下脣總テ在テ上脣ノ外ニ而喙尖リ至テ鬣後ニ有リ斜皺十數道鬣根亦有リ二三皺身半以下有リ植鰭ニ而尖短　鯨志

此鯨總テ白長須ニ似タリ但灰色ヲ異ナリトス

腹皮座頭ニ同シ形鯨ノヨウトシ脊腹皮同シ厚
サニテ二三寸油百樽肥タルハ三百餘油アシ
シ冬沍ル食物鯛ナリ鯨記

四兒鯨 和漢三才圖會本朝食鑑鯨記並作小鯨
ユクヂラ 西海 チユクヂラ 紀州鯨圖原本古座
熊野 方言 紀州鯨圖異本
方言
狐漢語小之謂也此物在鯨中最細小因而名焉
雖然細小其長有五丈長短鯨志所説鯨志云身半
全形圖故体似細長非如鯨志以下倍細長
細長者勫端中央如刻缺而又無刻折鯨志云勫
全体灰色而帯青色處々淡灰斑文没有所云缺
環全環半月蚯蚓蟠等文也眼眶上又無所去粗



国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

錯有沙如眉者（刪訂鯨志）
鬣白長一尺五六寸廣三寸許厚二三分呼曰白
髭（和漢三才圖會）
喙上及下脣邊至頷下有短毛如針（鯨志）
児鯨長五尋風味上油二拾樽（紀州鯨圖一本異本同）
小鯨五尋大ナルハ七尋背美ニ似ヨリ頭細ク
川ハゼニ似メリ色蒼黒ニシテ皮厚サ三四寸
腹皮五寸許リ油ノ色赤シ樽數五六十肥タル
ハ百二三十アリ一種青鷺ト云有皮白ク油白
シ大ニヨシトス油燃久シ一盞ノ油ニテ冬ノ
夜ヲ通ス鬣白ク長サ二尺餘食物蟹海鼠ヲ食
ス鯨記
大者名抹和素已（マサキト）味上品也脊上無レ鬣口上有レ白
毛舌淡黒色大者八九尋小者四五尋五尋者得ニ
油五十石計ヲ紀州鯨圖原本（與此同）
兒鯨長サ十尋程アリ名ヲ青鷺ト云油二斗入
百五十樽程アリ（紀州鯨圖原本）
右ノ内

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』　請求記号 130-72
ガラス使用

兒鯨

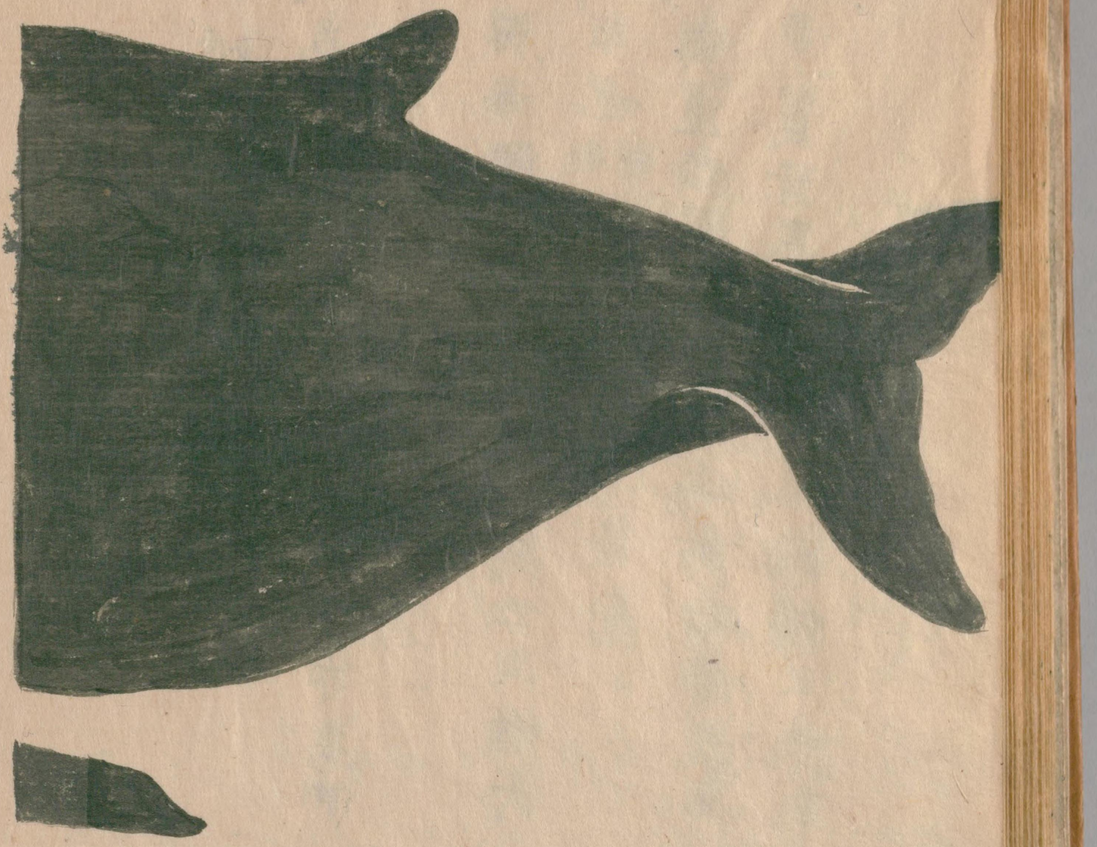
国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

青サキ
レヤレ
ノ二品ナリ全体形色同ジ唯脊上尾ニ近キ邊
ニ刻折アルヲレヤレトスナキヲ青鷺トスレ
ヤレハ青鷺ニ比スレハ性悪シレト云

五鰯鯨
イワシクヂラ 西海 カツオクヂラ 南海
鰹鯨形チ似テ鰹故ニ名ノ又此鯨張リヲ口追ヒ海鰮ヲ
和ワレ志鯨ト異
鰭
加ツヲ子倭ワ古知ヂラ剰與ニ海鰮鯨同物有リ二名ヲ也山瀬氏
分チ為ス二種ト者大ニ非也 剰計鯨志
海鰮鯨遍體堅オホシテ與ニ座頭同メ而上喙上無レ瘤鰭後無ニ
曲折鬣面無レ白章ニ鬣背黒為ル異ト耳且ツ鮒端又無レ刻
曲 同上

鯨鯢



国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

植鯨生乃朝前ニ死メ乃至尾ヲ円上
ニ曲タレ
鰯鯨頭ノ形座頭鯨ト児鯨ノ間ノヤウニ見ユ
西海
鯨図
四時常ニ出ル大ナル者六七尋小ナル者四五尋五尋者可得
油四石ヲ獲鯨図原本ニ又収メ腥羶ヲ作ル器物ヲ肉味不佳ラ獲譜
大ナル者不過ニ二三丈ニ肉薄脂少シ故漢人不好テ殺之ヲ和漢
三才
図會
皮薄クシテ柔苗トス是ヲ突取ル事稀ナリ鯨記

右鯨凡五種七品

コレ余西海ニテ見聞タル所ニヨリ
テ考ヒ定ムル所ナリ凡鯨ハ無鱗魚
ニシテ左右ノ脇ニ鬣アリ鬣ノ外面
ハ皆肉ニメ其内ニハ骨アリ骨ハ宛
モ人ノ指骨ノ如シ尾ハ岐アリテ丙
肉左右ニ分注ス脊上ニ肉鰭アルモ
アリ無モアリ鼻孔脳上ニアリ上顎
ノ左右歯齦ヲ生シテ脣ナク下脣上
顎ノ捻ヲテ齦ナシ目ハ鰭ノ前口ノ

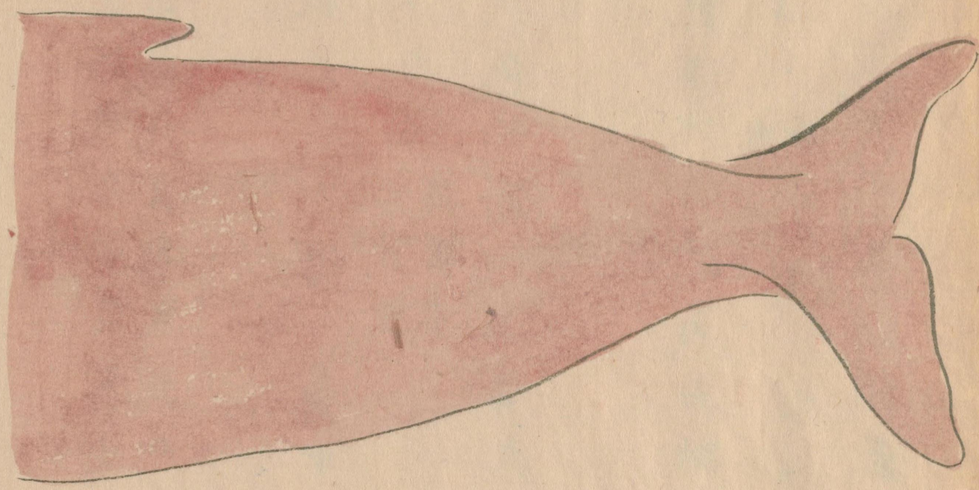
後ニアリ睚眦(マブタマツケ)アリテ能瞬(アタヽキ)ス雌雄人
ニ類シテ両乳具リ必ラス一子ヲ胎
生スカクノ如キヲ鯨ノ正種トスカ
クノ如クナラザルヲ鯨ノ異種トス
南海ハ此種類ノ内脊美至テ稀ナレ
ハ捕鯨ノ利自ラ少シ夫故鯨ノ種類
ト種類ニアラサルトヲ辨別セス一
例ニ皆ェレヲ鯨ト云ヒテ捕ルト
見ミタリ 鯨志ニ馬肉ヲ以テ鯨肉ノ
偽造スルト云フニテ見ル

レベ西海ハ脊美至テ多ケレハ利固ヨ
リ多シ故ニ能其種類ト種類ニアテ
サルヿヲ辨別シテ擇テェレヲ捕フ
ルダニ脊美ト云ヘハ他鯨ニカヽリ
タルヲモ打捨テヽ脊美ノ方ニ赴ク
ナリヤシテサカマタ西海ニ云タ
トウハ西海ニモオレモ固ヨリ鯨ノ
種類トセザレハトラス諸書ニ鯨ノ
種類ト云ヒテ載セタルモ其實ハ鯨

一ノ種類ニアラス然レ𪜈世俗ニモ久
シク云ヒフラシタル説ナレハ姑ラ
ク別ニ附録トナシテ下ニ出ス

真甲鯨 和漢三才図會紀州鯨図異本並作真甲唐津捕鯨図説作真向或作抹香
マツカウクヂラ
其色抹香ノ如シ故ニ名ク倍ニ真甲鯨ト書テ
通用スマツコ鯨トモ云紀州鯨図異本
全體灰色而少帯赤色頭圓垣上喙大而下喙尤
小鬚端無刻折 刪訂鯨志
左方頭角有噴水孔歯似牛角而排列數十枚
工人屢象牙以作器用 鯨志
黠者以末古歯偽一角或曰其効相若 刪訂鯨志

真甲鯨



国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

全身灰黒帯ニ微赤色ヲ脊上近レ尾ニ有ニ小鬣一其頭圓而
鼻孔在ニ項上一ニ舌淡黒色有レ歯以ニ此歯一ヲ染レ赤ニ凝作スル珊
瑚珠一ヲ者為ニ本贄一ト故ニ歯價貴レシ大ナル者名ニ禿摩篤一ト長サ十二
三尋小ナル者五六尋油至テ多シ而味不レ佳ラ七尋ナル者得ニ油
百二十石一ヲ魚譜紀州鯨図原本ノ以テ通修スルニ作ル
或曰ク百二十石マサニ十二石ニ作ルベシ
真甲有ニ大ナル牙一如レシ犢牛角一ノ此レ亦好テ逐レ鰛ヲ来脂少シ故ニ不
好殺レ之ヲ西海捕ニ有テ而紀勢総常之海有レ之其牙類ス
象牙猪牙ニ切磋作リ器ヲ或ハ造リ二人一牙歯一ヲ以テ為ス入歯一ト和漢三才

図會

長サ七尋油五六十樽程牙アリ小牛角ノ如シ糞
色黒白アリ其白色ナルハ得カタシ紀州鯨図一本異本
口中ニ歯有レ之長サ七八寸廻リ壱尺ホト有レ之
コレ油ヲ取ニハ脊ノ皮ヲハキ汲取大分ノ油
有レ之由此魚腹中ヨリ龍涎香トテ薬物ヲ出ス

西海鯨説

此鯨南海ニ有テ北海西海ニ来ラス土佐紀州
ニアリ油沃テ蠟ノゴトシ牙有リ牛角ノコトク

長サ一尺一二寸圍七八寸是ヲ老人ノ入歯ニ
作ル鯨
記
按ニ此魚ノ歯鯨志ニ云ク排列スル數十枚ヲ紀州鯨圖原本ニ云ク有上歯無下歯下齦有四穴ニ刑訂鯨志ニ云マツ末狐有上歯五下歯五齦只有陥穴ノ上歯ヲ美リ魚譜ニ云ク下腮列生スル牙歯ヲ而其上齦下歯之所相接ル処凹メル底ニ有小歯四說各同シカラス未タ何レカ是ナルヲ詳ニセス疑クハ刑訂鯨志ノ說是ニ近シ

重康曰紀州熊野浦ノ漁人真甲鯨ノ頭ノ内ヨリ脂ヲ取ル則肥中ノ白脂ナリ是異國ヨリ龍涎香ト名ツケテ渡ハ和倍鯨ノ糞トイフハ誤リナリ則獻上ス先生按スルニ今中華ヨリ來ル龍涎香トイフ物ハ大食國ニ龍涎嶼トイフ所アリ春ノ頃群龍交リ戲ムレテ涎沫ヲ水上ニ遺スヲ土人舩ニ乘行テ採ルヨシ花泓カ典籍便覽ニモ載セタリ此說モ疑ラクハ虛談ナラン是今和邦ニテ採ルトコロノ鯨ノ脳味噌モ

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

海倍ノイフ物是ナルベシ今華人ノ持來ル文
字香又琉球ニテ製スル所ノ壽帶香トイフ線
香アリ此線香ハ常ノ線香トチガイ炷(タキ)テモ白
灰ノ落ル事ナク上ヨリ下マテ灰結ホレテ篆(テン)
ノ形ノ如シ故ニ文字香トモ名ツク此香ハ龍涎
香ヲ合セ製スルユヘカクノコトクト華人ノ
說ナリ今和倍ニテモ鯨ノ腦味噌ヲ線香ト調
合シテ炷キ試ルニ華土ヨリ來ル文字香ニカ
ハル事ナシ故ニ和倍ヤノ字線香トイフ白灰
ノ結ホレ形(ナリ)平カナリヤノ字ニ少似タリコレ
ヲ以テ見レハ龍涎ハ鯨ノ腦ミソナルベシ諸國
採藥
使記

其屎魯(ル)ニ番人ニ他鯨屎未(ダ)之(ヲ)是(レ)ニ獨(リ)此鯨屎多シ名テ呼(ブ)ニ阿
牟(ム)辺(ベ)邏(ラト)日東魚譜

腹内ニ糞アリ形チツリ鐘ノゴトク赤白黑ノ
三色アリ赤ハ腹中ニ有リ黑ハ海上ニ浮フヲ
摶(カキ)集テ乾シタルナリ白キハ四五年ヲ經テ乾
タルナリ唐人ハ龍糞トテ藥種トス濕ヲ除キ

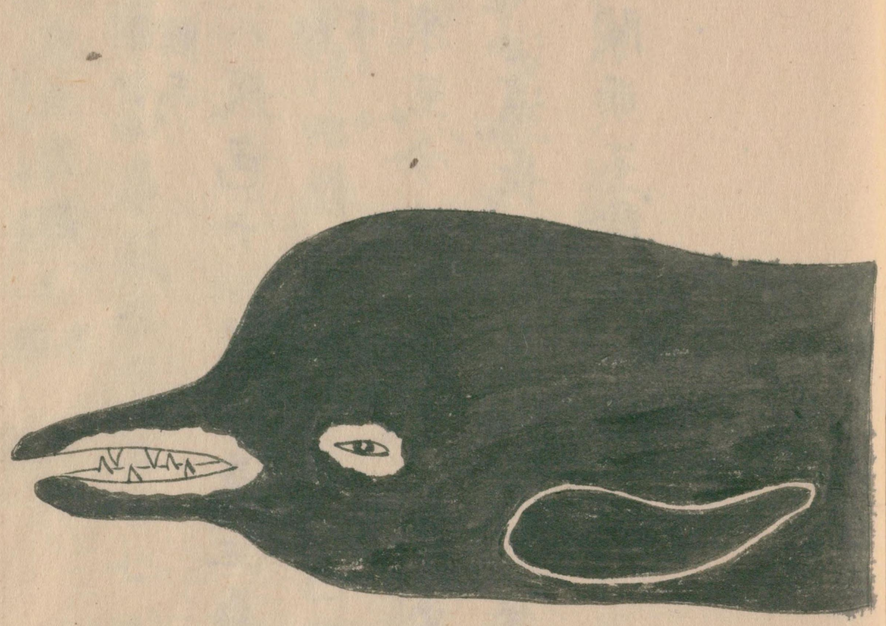
国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

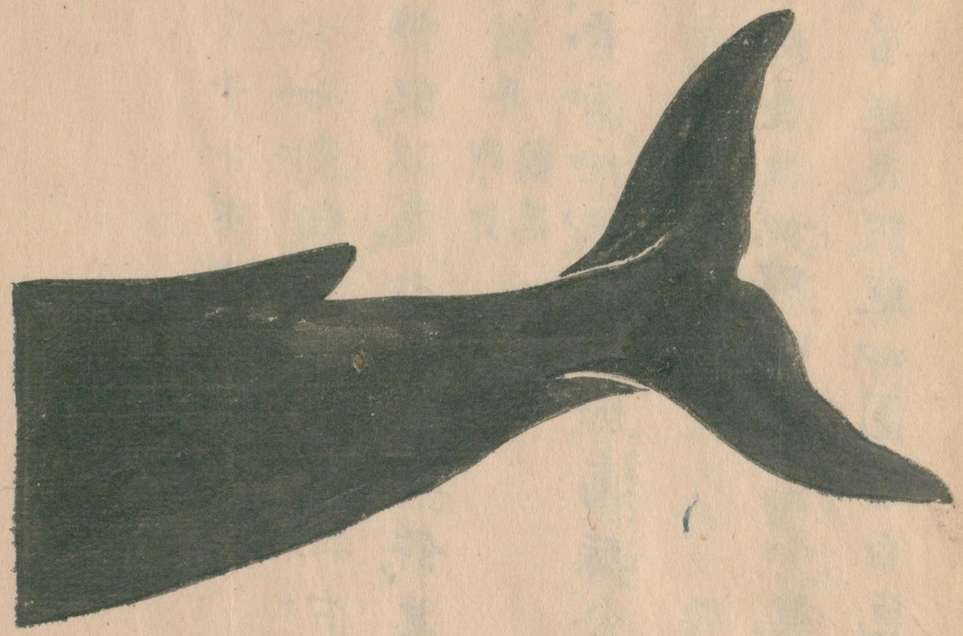
香ノ白ヒヲ散ラサス阿蘭陀ハアンヘルト云
旬玉ニ調合ス旬百年ヲ経テモ散(チリウセ)ル事ナシ
暹羅國ノ王求得テ寶トスイヘリ　能湿氣ヲ
拂價五六双倍鳥賊ヲ食スル糞ニ鳥賊ノ頭骨多
シ鯨記

槌鯨

ツチクヂラ　ツチンボウ　房州
熊野方言貴(ツチ)秩(クヂ)古知(ヂラ)剌鯨志作(ル)阿魏(アソビ)比古矢剌(ラニ)槌
遊草享相似(タリ)故誤認(テ)以為(ス)遊足(ル)以頃(レ)飴(ラ)其頭如(ノ)槌
杵(ノ)然(リ)故呼(テ)為(ル)槌鯨(ト)耳刪訂鯨志
紫(ツチ)七海鰌形(チタリ)似(サカ)素革埋(タ)但(ニ)口長如(ノ)鳥喙(ニカスノクチバシニ)全身灰色
魚譜
黒質(ヲ)而上下喙細長状如(ノ)鴨嘴(ノ)而光不(レ)鋭牙歯在(テ)
上下(ニ)目在(リ)吻後(ニ)脣辺及眼眶四圍皆白色頷下至(テ)

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

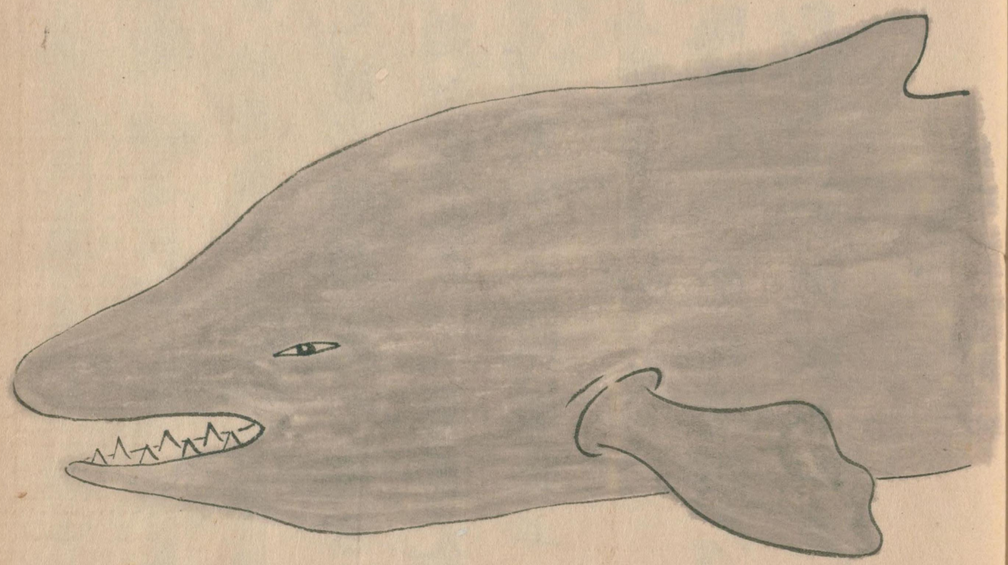
髭根ニ並ビ灰色ニシテ有リ軍身半以下有テ植鰭些シ而其本
針ニ於後ニ彎リテ千前ニ末尖リテ乃朝リ上鯨志
歯上下有リ四牙刪訂鯨志
槌鯨薄黒ク或ハ灰色ナルアリ長サ五尋風味下
油四五樽紀州鯨図一本
此物甚稀ニシテ古來至テ今唯再ヒ得之ヲ一ハ則刺レテ以得一
則自死スル者流ニ寄ル海濱ニ長サ四五尋云以古來稀ヲ得ニ故
未詳セ其形狀ヲ故闕而不論セ刪訂鯨志

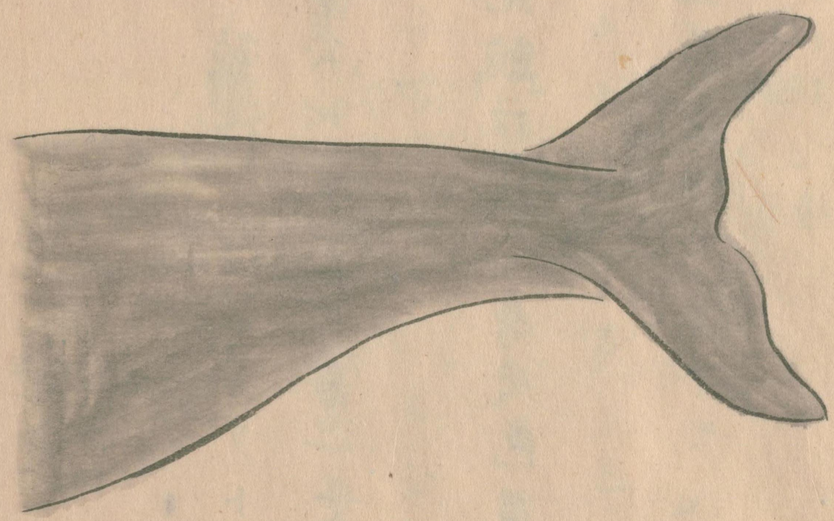
赤坊鯨

紀州方言アカボウ鯨俗ニハ只ボウト呼フ口
中下歯アリテ上歯ナシ大ナル者一丈五六尺
ニ及ブ紀州鯨図異本
赤坊海鰌形ニ似テ津地ノ鯨ニ口尖リ全身灰色帯テ微黒ヲ眼
上ニ似タリ土鯨ニ魚譜
アカボウ鯨長サ四尋風味下油十七八樽程紀州
鯨図一本
異本並同

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

赤坊鯨





国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

サカマタ

サカマタ南海　タカマツ西海　レヤチー名　オキ

ノカンヌレ能登　クロトンバウ大和本草

沙加末打（サカマタ）漢語倒載之謂也植鰭在中身而極大

尖長朝後與身相對（ス）猶倒載也故名焉（ル）爾人名矢

牙知布（ヤチフ）狐（コト）刪訂鯨志云布狐二字當刪去黒質而頭圓長上喙長

大下喙細少而短於上喙有歯（リ）鯨志

舌色淡紫目在吻上眼眶之上有白斑如眉下喙

之下至腹有腴其色白鬚根有環皺二三道植鰭

後有灰白色斑（ノ）文刪訂鯨志

鯨志曰善逐同類咬（ミ）食之此説非也為群（レ）結黨逐（ヒ）

食諸鯨及海豚（イルカ）等之類耳刪訂鯨志

其大ナル者一丈四五尺許リ好テ燈漁ヲ咬（ム）ヲ

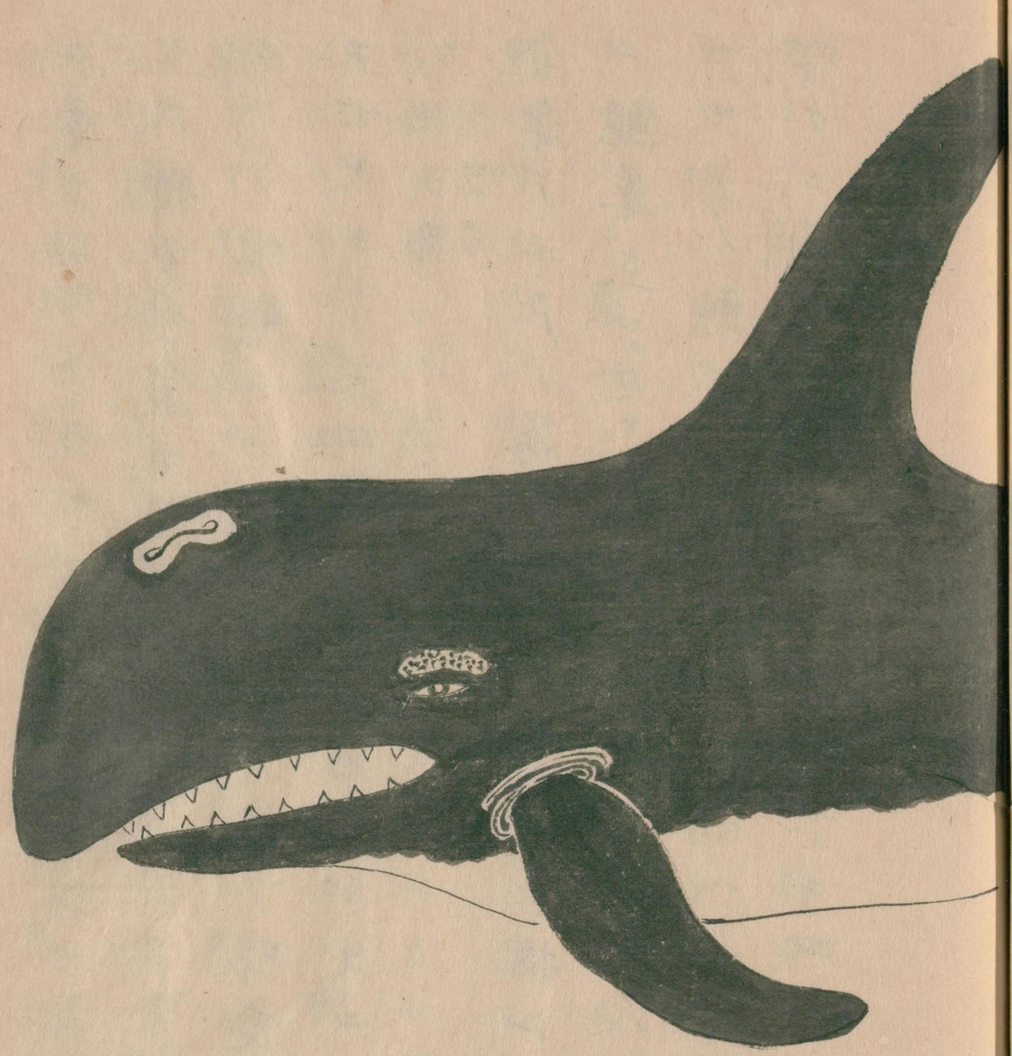
ヨシ他ノ鯨ト異ナルコト潮ヲ二筋ニ吹ト云

リ俗ニレヤチホコト呼ブ畧シテレヤチトバ

カリモ云ヘリ口中上下歯アリ至テ利鋭ナリ

海鰍ノ屬此モノヲ懼ルル若此モノニ咬（カミ）傷（ヤブ）ラレ

テ鯨魚疵（キス）痛（ミ）疲（ツカレ）テ漁人ニ獲ラルヽコトアリ俗



サカマタ

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

ニ是ヲレヤチカケト云長四尋味ニ下品油凡ソ十
五六樽貝原翁云黒トンバウト云テ勇州ノ海
ニアリ性剛(カウ)ニシテ能一切ノ大魚ヲ咬(カミ)食フ大サ
五七尺ヨリ三四間ニ至ル油多シ皮ニ牡蠣生(カキ)
又紀洲鯨
図異本
余嘗テ平戸ノ属島生月ニテ鯨ヲ捕ルヲ見シ
ニ鯨屢立アガリ潮ヲ吹クヲ見テ漁人是ハタ
カマツノ鯨ニ付タルナリト云ヘリ因テ之ヲ
叩クニタカマツハ歯ノ數上下ニ四十八枚程

アリテ鯨ヲトル魚ナリ其鯨ニ付タルトキハ
先ツ頻リニ立羽(タツパ)ノ辺ニ磨(スリ)付ケハ鯨癢(カユ)サノ
アマリニ屢立アガリ口ヲ開ク所ヲタカマツ
直ニ吻(クチバシ)ヲ容(イレ)レ其舌ヲ吃(カミ)ミ夫ヨリドコトナク
咬付テ卒ニハ鯨ヲ咬殺スト若シタカマツノ付
タルトキハ鯨タガマツノ牙ヲ怖ルヽ故何ホド
驅(カ)リテモ人意ノ如クナラズ故ニ捕ルコヲ得
又余嘗テ聞タルハシヤチホコ常ニ鯨ノ唇(クチビル)辺ニ
従ヒ鯨非分ノ食アレハシヤチホコ之ヲ制ス

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

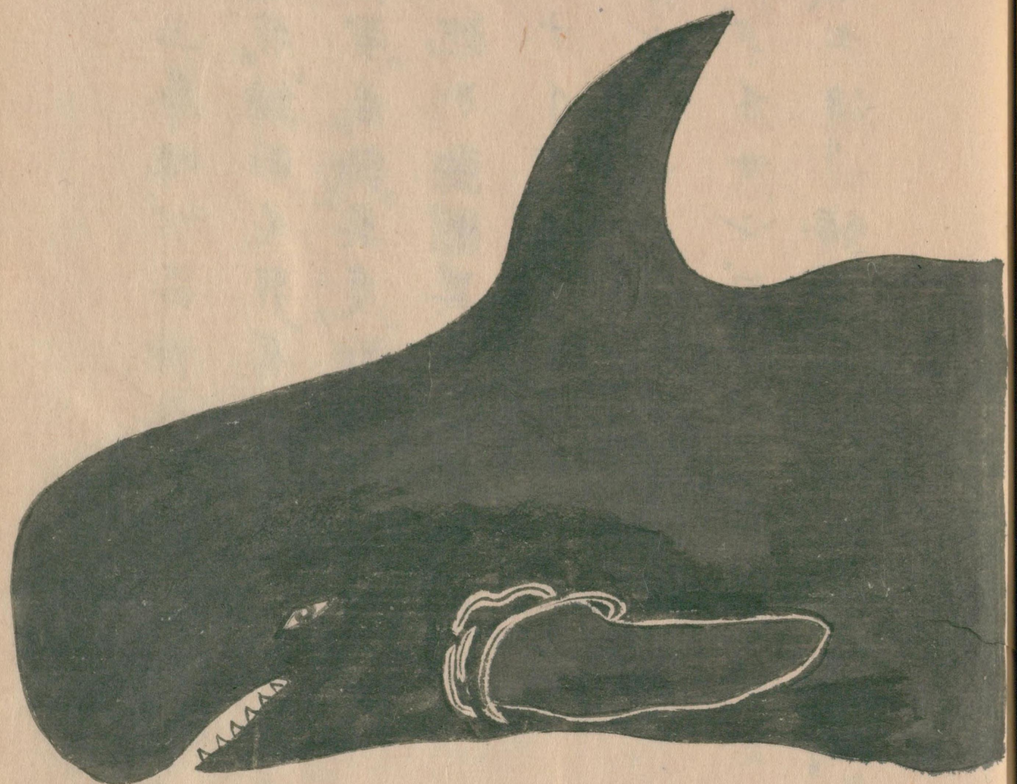
ト云ハ大ナル謬(アヤマリ)ナリ

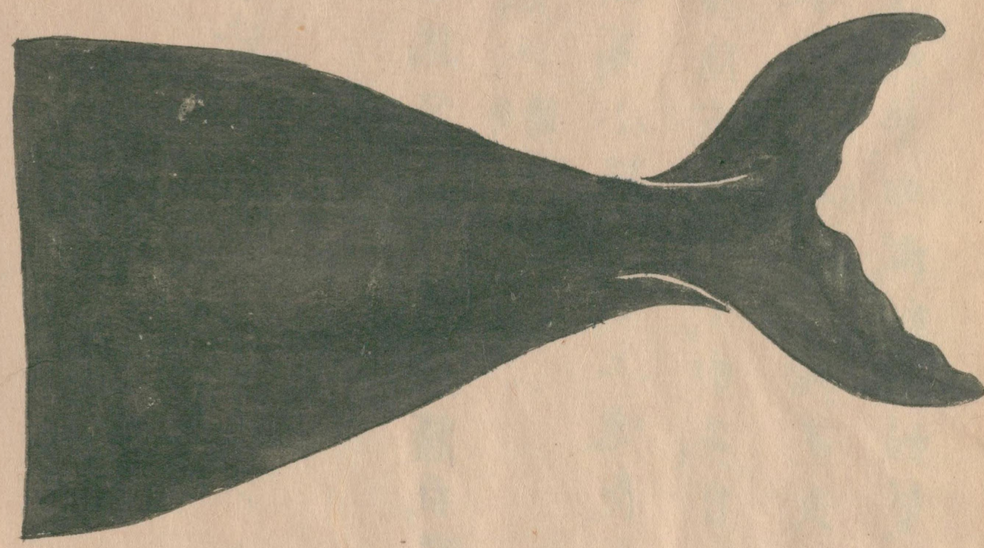
ゴトクジラ

ゴトノ類多シ皆其頭大ナリゴトハ蓋巨頭ノ
謂歟紀洲鯨
図異本
伍篤(ゴト)鯨形(ナガス)ニ似琵琶筐ニ口平背黒腹白ク脊ニ有鬣(ヒレ)頬後
有鬐(ヒレ)鼻孔在脳上ニ鼻(ハナ)
譜
黒質(シツ)ニシテ而矮小頭圓小口狹小上喙長大(オホキ)ニシテ而(シカ)
右中小起(タツ)テ前後陥下喙短小(ヒクシ)ニシテ而出(イヅ)ル自上喙中小弯(ワン)リ
有歯目在吻後上ニ項後有植鰭甚長大(オホキ)ニシテ而尖弯朝(カヘ)ル
後ニ下身豊肥至(イタ)テ鮫根ニ而漸(ヤウヤク)細長鮫鬣俱ニ如(ゴトシ)ル並(ナラビ)ニ水葉(ハ)ノ

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

ゴト鯨





国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

刪訂
鯨志
長サ三尋味下品油六樽程紀州鯨
吳度非メ鯨而又非レ有ニ那以佐矢布嵩布奈武等之
數種者一若レ論ニ吳度一則此圖稍近刪訂
按ニ紀州鯨圖異本及ヒ鯨志ニ
ナイサゴト
レホゴト
ダイナンゴト
ヲ載セタリ海ノ幸ト云魚圖ヲ載セタル書ニ
モゴト鯨四種アリ刪訂鯨志ニハ是等ヲ絶テナ
キ[ト]ト云然レ[ド]モ諸書ニ其名見エタレハ姑ラ
ク其名目ヲ存スルノミ

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

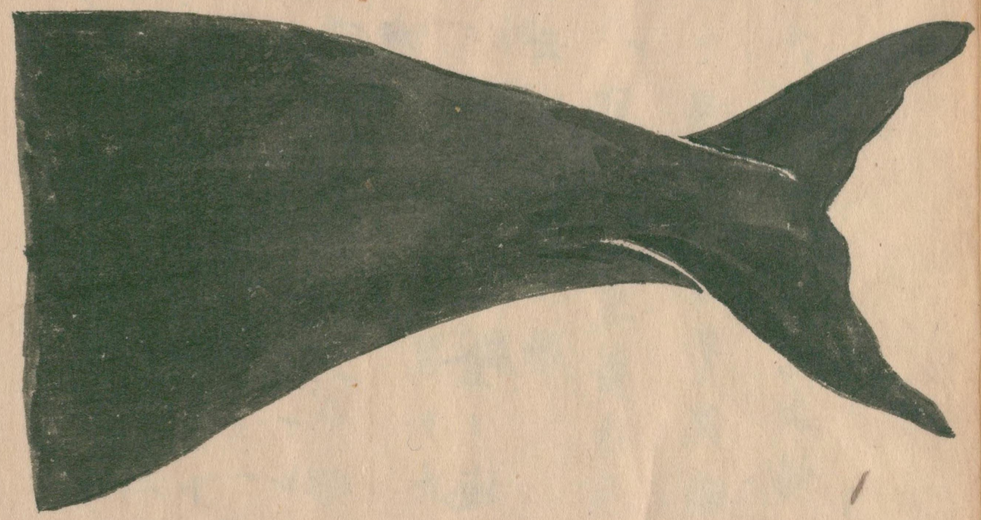
スナメリクジラ

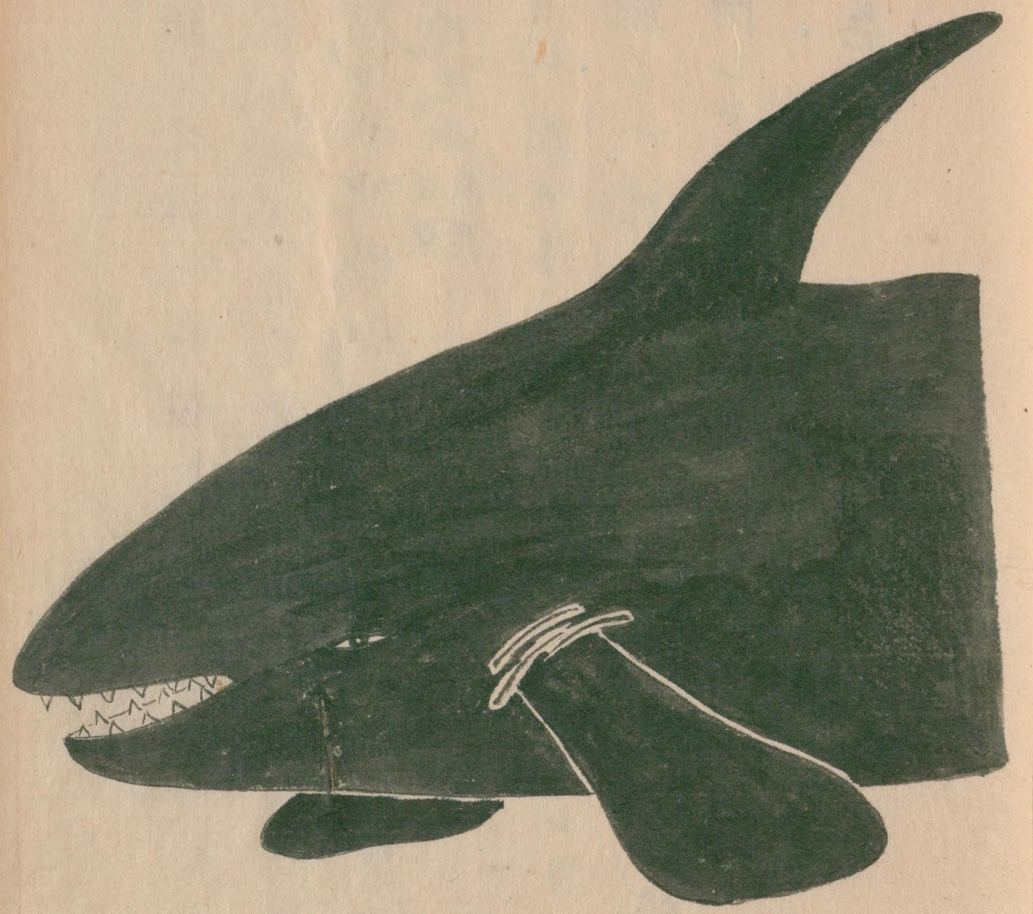
總州方言其長大ナルハ二三丈許リ享保中總州行徳海濱ニテ是ヲ得タリ其雄者二丈七尺其雌者三丈六尺有リ陰莖黄白色長サ五六尺許リ牙形芋子ニ似タリ紀州鯨 岡異本

品川ノ海ニスナメリトテ黒キ大魚背ヒレヲ出スコトマヽアリ弓ニテ射又刃物ヲ抛(ナゲツク)テ偶々(タヽク)得タルコトアリ貝原翁云ナメリ一名波ノ魚形圓クメ黒色海鰌ニ似タリ長サ五六尺或ハ二間許海上ニ背ヲ差出スヲ鉄丸ニテウツ油多シテ食スベカラス漁人煎メ油ヲトリ利ヲ得ルモノト云ヘリ按ニ此魚ノ小ナル者乎又一種アリヤ考ベシ同書標註

此物奥州ノ海ニモアリ塩釜ノ海湾エモ入リ來ルコトアリト云

スナメリ鯨





国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用

蜈蚣（ムカデ）鯨

蜈蚣鯨此方漁人云鯨魚之一種別類有リ名ヲ蜈蚣鯨ト者形チ似タリ二鯨児一赤色脊有二五鬣一岐尾而有二短脚十二足一行ク二于水中一形チ似タリ二蜈蚣一故名ヲ二蜈蚣鯨ト一有リ二大毒一漁人甚恐ル之ヲ云日東奥譜

按ニコレ固ヨリ鯨ノ種類ニアラスレカレ氏俗ニ鯨ノ一種ト云説アルニヨリテ今姑ラク此ニ附シテ異聞ヲ廣ム

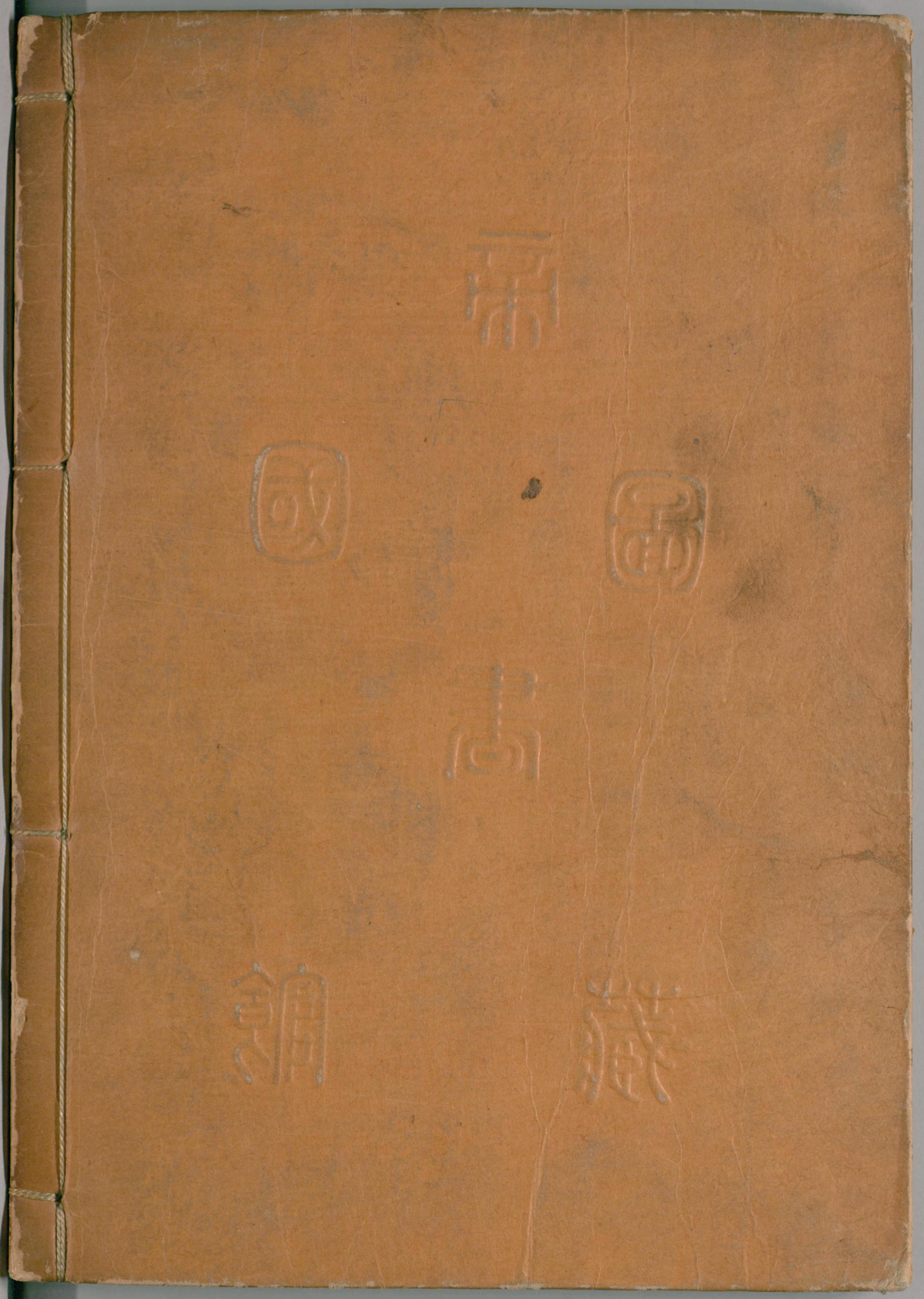
鯨史稿巻之二

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72
ガラス使用

130
6
72

国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『鯨史稿 6巻』 請求記号 130-72

ガラス使用